

いきいき

第46号 | 2024年10月

イーハトーブ

岩手で暮らす人々の元気の源になる「結いっこ」マガジン

第36回岩手県長寿社会 健康と福祉のまつり

交流大会の様子

こんな団体を
助成しています

社会福祉法人光琳会
「命の光」を見るシアター事業

財団からのお知らせ

令和6年度ワークライフセミナー



6/12 グラウンド・ゴルフ交流大会(北上総合運動公園)

第36回岩手県長寿社会健康と福祉のまつり

いきいき岩手支援財団では、岩手県内各地でシニア世代の健康増進や生きがいを目的とした各種交流大会を開催しています。

今年度は広域的に危険な暑さや大雨の影響で、中止や延期になる競技が多くみられました。これまでに、ゴルフ、グラウンド・ゴルフ、将棋、ゲートボール、卓球、剣道、ソフトテニスの競技が行われました。

これから行われる競技も開催に向けて着々と準備を進めています。各競技団体からの写真をお預かりしましたので、参加者の方々が仲間との交流を楽しみ、いきいきとプレーしている様子をお知らせします。



7/14 将棋大会(北上将棋センター)



9/8 卓球交流大会(岩手県営体育館)

こんな団体を助成しています

社会福祉法人光林会るんびにい美術館

高齢者の保健福祉や地域福祉の増進を図るため、地域の実情に応じた民間活動に助成することを目的としている「いわて保健福祉基金」。財団ではこの基金の運用益により、助成金を交付しています。

今回は、令和6年度の助成金を受け「社会福祉法人光林会るんびにい美術館」が行っている事業をご紹介します。

「命の光」を見る体験シアター事業

花巻市にある「るんびにい美術館」は、主に知的障害を持つ人たちの作品展示や、障害の有無に関わらず、見る人が「命」を感じるようなあらゆる表現物を紹介しています。

今回の事業「命の光体験シアター」は、障害の有無を超え、あらゆる人が完全に等しい「命」であることを実感する体験を提供し、ソーシャル・インクルージョンの本質的な前進になることを目的として2025年1月20日まで開催しています。

電子的なテクノロジーを活用して、心臓の鼓動を「光る玉」「光る繊維」などの光の明滅にリアルタイムに変換する装置を用い、誰もが同じ「命の光」であることを来場者が体感するシアターでは、来場者同士の心臓の鼓動だけではなく、県内外の重度心身障害のある方の鼓動も、「いま刻んでいる鼓動」としてリアルタイムで会場に送信され、すべての人が同じ光としてともに明滅しあう光景を、物理的な距離を超越して一つの空間の中に出現させます。



シアターは完全予約制で、るんびにい美術館のホームページから予約できます。予約した時間に美術館へ来場し、手順の説明に従って体験シアターへ向かいます。シアターの中は真っ暗ですが、暗闇の中で光が織りなす幻想的な世界に包まれます。私たちが普段見過ごしてしまう生命の輝きや自身の生命の価値を感じ取ることができる、そんな特別な時間を過ごせるのではないのでしょうか。

アートディレクターの板垣さんは「『命を見る』経験で、ご自身は何をそこに見出すか確かめて来てほしい。」と話していました。

「生命が光に変わる体験シアター あなたのいのちが光なら。」

2024年9月15日(日)～2025年1月20日(月)

開館時間＝午前10時～午後3時30分

〈シアターは完全予約制となります〉

入館料＝無料

休館日＝毎週火曜日・水曜日

冬季臨時休館日＝12月29日(日)～1月4日(土)

主催＝社会福祉法人光林会 るんびにい美術館

お問い合わせ | るんびにい美術館

〒025-0065 岩手県花巻市星が丘1丁目21-29

TEL：0198-22-5057

URL：<https://www.kourinkai.net/museum-lumbi/>



いわて保健福祉基金助成金

岩手県内に在住または運営拠点のある団体や個人が、高齢者、障がい者や障がい児等及び子育て支援のために行う非営利の活動に対して助成を行っています。

※令和7年度の募集要項等、詳細は11月以降当財団ホームページに掲載します。

令和6年度ワークライフセミナー

少子高齢化に歯止めがかからない現在、効率の良い働き方や女性の社会活躍が求められているなか、様々な葛藤を抱きながら働いている現状があります。子育て世代の方々が自分らしく毎日を過ごすためには社会や企業の後押しだけでなく、他に何が必要なのかこのセミナーがヒントとなれば幸いです。

令和6年度 ワークライフセミナー

12/4

13:30～16:00

水 プラザおでって
おでってホール

参加
無料

受付13:00～

子育ても
仕事も
あなたらしく輝くために

対象

経営者 子育て中の方
人事労務担当者 行政関係者
その他興味のある方

参加方法

会場（定員100名）
または
オンライン（ZOOM）

第1部 講演

新潟の中小企業 製造業でテレワーク
男性育休当たり前 毎日ノー残業

過重労働から超ホワイト企業へ

～「残業ゼロ」「男性育休100%」
達成からの幸せな「増収増益」～

株式会社サカタ製作所
代表取締役社長 **坂田 匠 氏**



1960年新潟県生まれ。大学卒業後、ロボットシステムを開発する企業へ入社し経験を経て、1985年にサカタ製作所に入社。営業部門の陣頭に立ち、国内のマーケットのトップシェア企業に成長させた。1995年代表取締役社長に就任し、大阪・東京に営業所を開設して営業力を強化。2015年以降は、「残業ゼロ宣言」のもと、積極的なICT活用による業務の効率化、誰もが子育てに積極的に関われる社内制度を確立し、男性の育休取得率100%を達成。時代を先行した働き方改革を進め2019年にはホワイト企業アワード 最優秀賞を受賞し大きな成果を挙げている。

第2部 パネルディスカッション

坂田社長も

パネリストとして登壇！

男性も「家庭で」「地域で」活躍したい！
子育てから考えよう、お互いを尊重できる働き方

パネリスト **佐々木 護 氏**



NPO法人ファザーリング・ジャパン東北理事
北上市議会議員
長男誕生を機に2カ月半の育休を取得。子育ての楽しさや大変さを経験したことで、パパ支援に興味を持ち、ファザーリング・ジャパン東北に入会。男性の育児参加・育休取得を推進する活動に尽力。

ファシリテーター **田淵 紫織 氏**



朝日新聞東京本社 社会部
2011年から朝日新聞記者。12～15年に盛岡市と大槌町に駐在。16年に東京で産休・育休を取得後、子どもや保育・教育の取材を長く行う。23年春まで、子育て世代のページ「ハグスタ」編集長。

後援

岩手県、盛岡市、岩手県男女共同参画センター
岩手労働局、一般社団法人岩手県経営者協会
岩手県中小企業団体中央会、朝日新聞盛岡総局
岩手県社会保険労務士会、いわて未来づくり機構

問合せ
申込み

公益財団法人
いきいき岩手支援財団
☎019-626-0196





第36回全国健康福祉祭(ねんりんぴっくはばたけ鳥取2024)に向けて達増拓也知事より県旗を受け取る選手。(10/1 岩手県庁)

編集者より

今号の「いきいきイーハトーブ」をご覧ください。誠にありがとうございます。この度、46号から新たなデザインでスタートいたしました。今回のリニューアルでは、より多くの皆様楽しんでいただけるよう、デザインや内容を一新いたしました。特集記事やインタビュー、財団のお知らせやイベントを伝えるコーナーなど、充実した内容をお届けすることを目指しております。

今回は、「いわて保健福祉基金助成金」を活用している団体の特集しました。私も実際に花巻市のるんぴにい美術館にお邪魔し、体験シアターに参加してきましたのですが、私たちが日々の生活の中で忘れがちな「生命の尊さ」を改めて考える機会となりました。

また、私たちの財団では、新たにInstagramアカウントを開設しました。このアカウントでは、財団の活動やイベント情報、地域の魅力など随時発信していきたいと思っています。皆様にとって有益で楽しい情報をお届けすることを目指していますので、ぜひフォローして最新の投稿をチェックしてください。

皆様の「いいね」やコメントも大歓迎です。どうぞよろしくお願いいたします。

Miki



IKIKI_IWATE